

JAZA 将来構想 2025(原案)



2025年2月

公益社団法人 日本動物園水族館協会 (JAZA)

発行 公益社団法人 日本動物園水族館協会 (JAZA)

住所 〒110-8567 東京都台東区台東 4-23-10 ヴェラハイツ御徒町 402

URL <https://www.jaza.jp>

「JAZA 将来構想 2025」策定の背景

■公益社団法人日本動物園水族館協会 (JAZA) の使命

JAZA は、「動物園、水族館事業の発展振興を図ることにより、文化の発展と科学技術の振興並びに自然環境の保護保全に貢献し、もって人と自然が共生する社会の実現に寄与すること」を目的としています。(定款 第3条) この目的を達成することが JAZA の使命であり、本将来構想策定の大切な前提条件になります。

■2013年に策定した「10年ビジョン」の検証

2013年にJAZAは「10年ビジョン」を掲げ、「いのちの博物館」の実現をめざし、アニマルウェルフェアの向上や種の保全活動などに取り組み、アニマルウェルフェアに関する規程の制定や、コレクション計画に基づく個体群管理の開始など、多くの成果をあげることができました。こうした事業に取り組む中で、多くの課題やさらに推進すべき新たな目標も見えてきました。

■動物園・水族館を取り巻く外部環境の変化

2013年以降の10年間で、動物園・水族館を取り巻く社会環境も大きく変わりました。

私たちは、人間活動による生態系の破壊、気候変動や大規模な自然災害、パンデミック、戦争や紛争、さらには世界経済の混乱など、地球規模の危機に直面しています。また国内でも、少子高齢化や過疎化、度重なる災害などによって地域社会の衰退が懸念されています。

人々の価値観は「ものの豊かさ」から「心の豊かさ」へ、世界の共有目標はSDGs（持続可能な開発）から持続可能な Well-being（良好な状態）社会の実現へと変わることが求められています。その流れを推し進めるためには、多様性や地域性を尊重し、自然と共生し持続可能な社会をつくりあげなければなりません。

こうした大きな社会変動が求められる中で、動物園・水族館は、地球環境や生物多様性の保全を推進し、人類のためだけでなく地球全体を良好な状態(Planetary Well-being)にするために力を発揮する施設でなければならず、そのためには、JAZA も、そして個々の動物園・水族館も大きく変わっていく必要があります。

■「将来ビジョン」の策定方針

JAZAは、こうした世界的な変化に即して、人と自然との共生社会を実現し、激変する地球環境を守るために活動します。この方針を明示するために、新たな動物園・水族館の将来ビジョン「JAZA将来構想 2025」を策定しました。

今後、JAZAは動物園・水族館に関わるあらゆる方々と手を携え、「地球と生きものより良い未来のために ともに行動する動物園・水族館」をめざして邁進していきます。

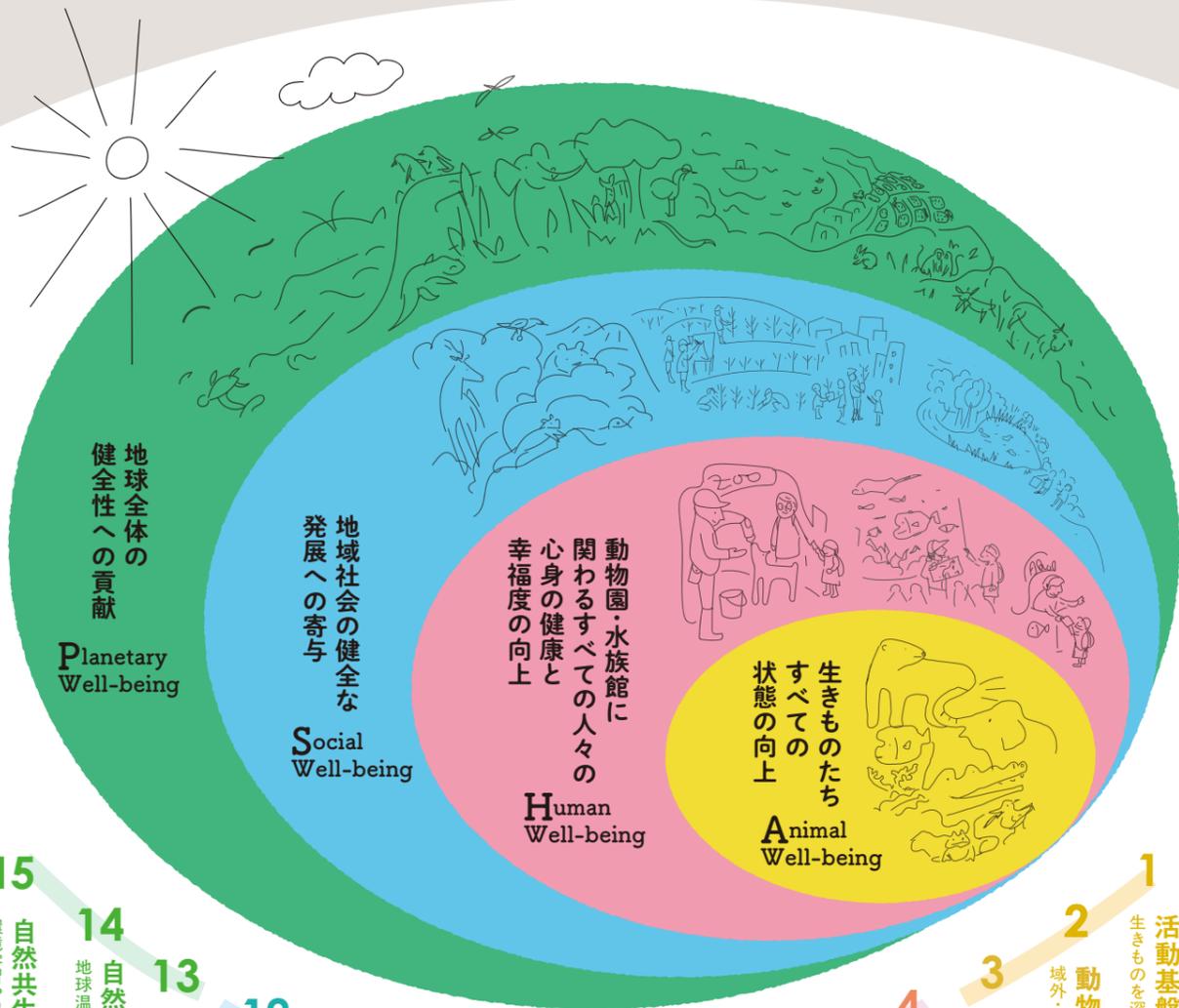
JAZA が考える

個々の動物園・水族館の将来ビジョン

地球と生きもののより良い未来のために ともに行動する 動物園・水族館

動物園・水族館は、個々の生きものやそれらを取り巻く環境、さらには地球全体で Well-being（持続的で良好な状態）が確立された世界をめざし、多様な人々とともに行動します。

個々の動物園・水族館は、より良い未来を実現するために、この「ビジョン」を将来の目標として位置づけ、その達成に向けて、すべての職員が主体的に関わります。そして、個々の生きものから地球規模までのさまざまな課題に取り組むため、仲間を増やし、協力し合いながら行動します。



4つの目標

将来ビジョンを達成するために、4つの領域で目標を定め、取り組みます。

15のアクション

4つの領域で15の方向性を定め、アクションを起こします。この方向性に基づく具体的なアクションプランを策定し、5年程度で取り組みます。

- 1 活動基盤となる調査研究の推進
生きものを深く理解し、その未来を守るための科学的な調査・研究を推進する
- 2 動物の管理と種の保全の推進
域外・域内での希少種の保全や飼育動物の計画的かつ継続的な維持管理に取り組む
- 3 アニマルウェルフェアの向上
飼育下の生きものが健全に暮らせるよう、高いアニマルウェルフェア状態を維持する
- 4 楽しみなどの体験の提供
利用者には自然体験、驚き、安らぎ、癒やし、楽しみなどの多様な体験を提供する
- 5 学びの場の提供
多様な人々に、科学的で専門的な知識を楽しみながら学べる社会教育の場を提供する
- 6 自己形成の場の提供
様々な年代の人々に自己形成や情操育成の場を提供する
- 7 技術継承と人材育成の強化
継続的に組織の専門性を向上させるため、技術継承と人材育成の強化を図る
- 8 健全な運営体制の確保
働く人々と協力者が健全に暮らせる環境と、持続可能で良好な組織の運営を確保する
- 9 役割や活動の周知の強化
動物園・水族館の役割や取り組みを積極的に発信し、理解・共感を得て仲間を増やす
- 10 地域の環境保全を推進
市民との協働により、園館が存在する地域の環境保全や生物多様性保全を推進する
- 11 地域振興への貢献
園館の存在する地域が潤い、地域の価値が向上するよう地域振興に貢献する
- 12 地域の人々の幸福度向上への貢献
園館が存在する地域の人々が心身ともに豊かに暮らし、地域全体の幸福度向上に貢献する
- 13 人々の行動の変化を誘発
人々が環境や社会の現状に気づき、未来のために自らの行動を変えるきっかけを提供する
- 14 自然環境の保全への貢献
地球温暖化や生物種の急速な減少など、地球規模の自然環境問題の改善に貢献する
- 15 自然共生社会実現への貢献
環境学習や保全教育などにより、自身も生態系の一員であるという意識の醸成に寄与する

JAZA のこれからの 取り組み方針

JAZAは、国内の動物園・水族館を支援し牽引する組織として、国内外の多様な関係者と連携・協働し、業界全体が持続的に成長・発展できるよう取り組みます。



国内の動物園・水族館がこの「ビジョン」を実現することで、動物園・水族館のつながりである JAZA はその使命を遂行することができます。そのため、JAZA は体制と活動の強化を図り、個々の園館や多くの人々とともに協力し合いながら行動します。

- JAZA は、以下の取り組みに重点的に取り組んでいきます。
- アニマルウェルフェアの推進
 - 行動変容をめざした教育活動
 - 生物多様性保全の推進